

認知症に関する活動計画（概要）

青森県作業療法士会では、今年度も3つの柱を中心に活動を企画した。

- ①各市町村の認知症初期集中支援事業の後方支援
- ②地域で活躍できる作業療法士の人材育成
- ③認知症作業療法の普及啓発

少しずつではあるが広報活動が実り、地域包括支援センターなどからの依頼（認知症初期集中支援事業、認知症カフェ、認知症予防教室など）が増えている。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

9月17日に認知症の人と家族の会と協力して、街宣活動を実施する予定。

自治体と協力し、オレンジライトアップ参画予定。

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症フォーラムの企画・運営から参画した。作業療法士会のポスターを掲示し、認知症作業療法の普及啓発にもつながった。また今年度も専門職としての立場で『つどい』に参画した。

認知症スタンプラリー事業（青森県士会独自の取り組み）

住民へ認知症への理解を深めてもらうため、また認知症の作業療法を理解してもらうために今年度も開催した。認知症作業療法普及啓発のため、協力いただいた専門団体に作業療法の特色を説明した。

COVID-19の影響・対応など

人材育成として、認知症作業療法基礎研修会を開催した。11月には認知症初期集中支援事業スキルアップ情報交換会を開催する予定。今年度の研修はすべてオンライン研修となっている。

地域包括支援センターより認知症カフェの企画・運営依頼があり、第1回目開催に向けて協議している。

（対面活動に戻りつつある）



はちのへ認知症フォーラム
なっても大丈夫！～そんな八戸をつくっていきましょう～